

世界水会議(WWC)とは

(参考1)

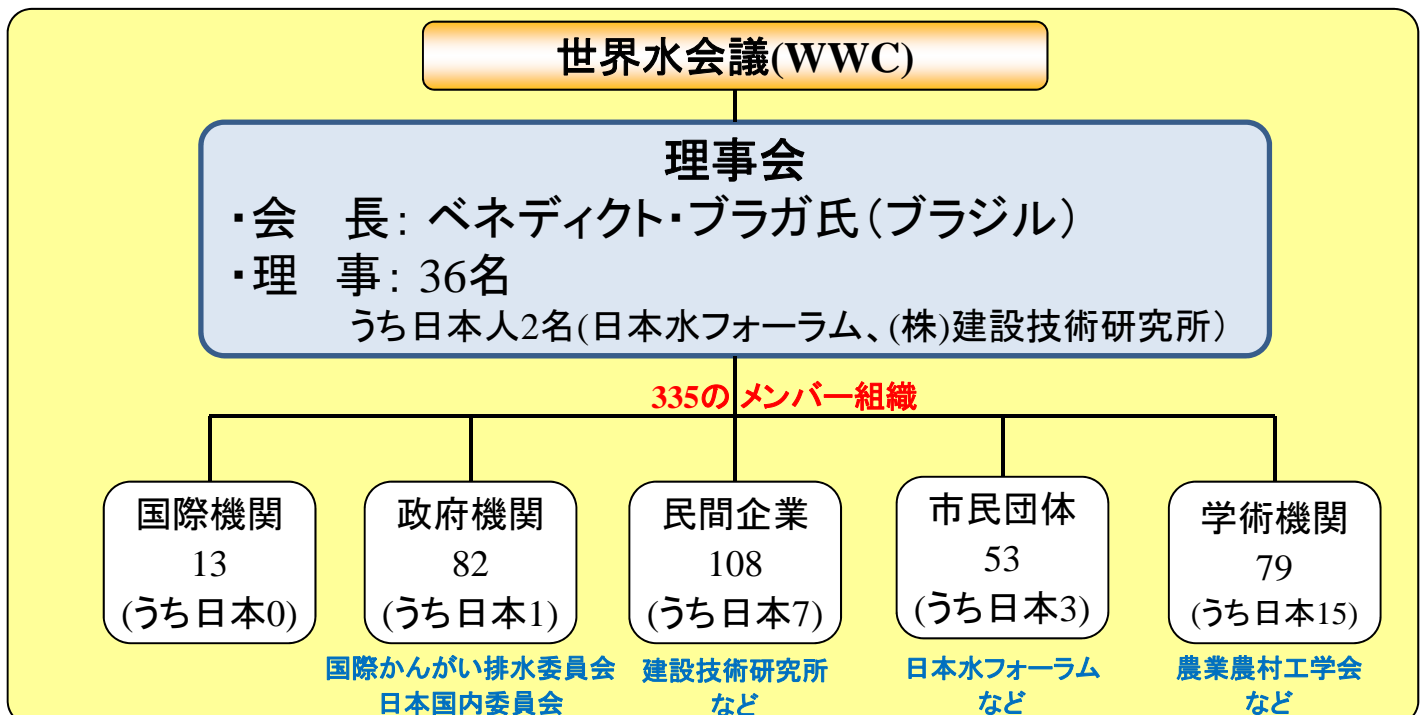
- WWC(World Water Council)は、フランスに本部を置き、水に関する政策提言等を行うNGO。
- 3年に1度開催される世界水フォーラム*を主催。
- 理事会はベネディクト・ブラガ会長(ブラジル)を含む36名にて構成され、日本人理事は2名。
- 2016年7月時点で335の組織がWWCのメンバーとして加盟。メンバーは国際機関・政府機関・民間企業・市民団体・学術機関の5つのカテゴリー(collage)に分類。

*世界水フォーラム:

3年に一度世界中の水関係者が一同に会し、地球上の水問題解決に向けた議論や展示などを行う水分野の世界最大級の会議。

2015年開催の第7回フォーラム(於 韓国)には、各国の閣僚をはじめとする168カ国、約41,000人が参加。

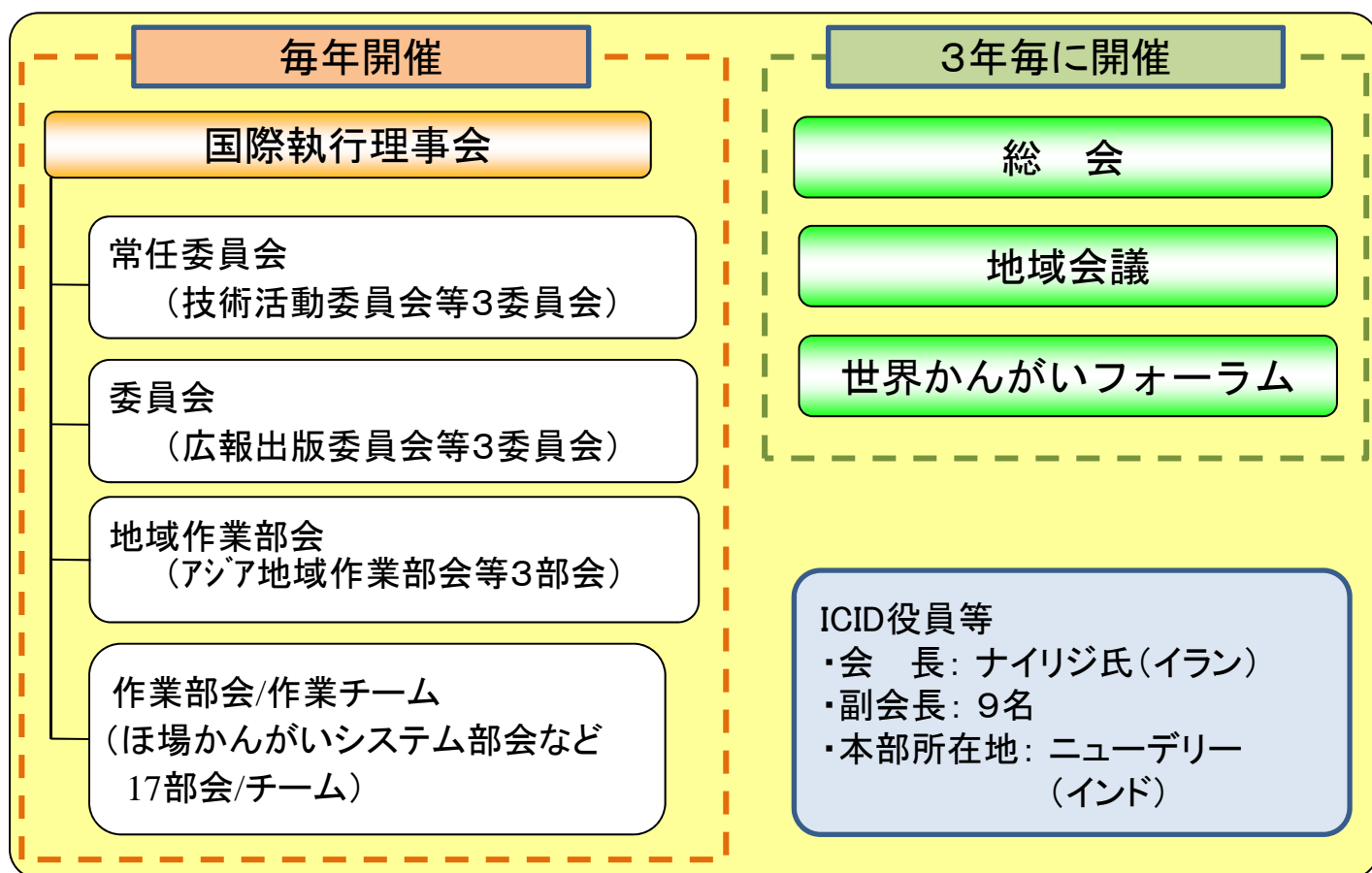
2003年開催の第3回フォーラムは日本(京都・滋賀・大阪)にて開催され、農林水産省とFAOは「水と食と農」大臣会議を共催。



国際かんがい排水委員会(ICID)とは

(参考2)

- ICID(International Commission on Irrigation and Drainage)は、かんがい排水にかかる科学的・技術的知見により、食料や繊維の供給を世界規模で強化することを目的として、1950年に設立された自発的非営利・非政府国際機関。日本は1951年に加盟。
- 75の国・地域が加盟し、各国は国内委員会を設置。



日本国内委員会

学術経験者等をメンバーとし、かんがい・排水・洪水等に関する知見の情報の収集・発信
委員：委員長以下18名
事務局：農林水産省農村振興局整備部設計課